

登録コード	A3592418	開講年度	2026						
授業科目	プレゼンテーション演習Ⅱ							担当教員	梅澤 公二
英文授業名	PresentationⅡ								
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期			対象学生	4年生前期（研究室分属学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー該当									
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】		
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ								
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					⇔	専門的な内容について適切なプレゼンテーションができるようになる。		
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					⇔	専門的な内容について適切なプレゼンテーションができるようになる。		
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ								
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					⇔	専門的な内容について適切なプレゼンテーションができるようになる。		
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					⇔	専門的な内容について適切なプレゼンテーションができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他								
(3)全学横断特別教育プログラム									
(4)授業の概要	・研究課題に関するプレゼンテーションを実施する。 ・他者のプレゼンテーションを聞き、批判的質問および議論をする。								
(5)授業計画	プレゼンテーションはパワーポイントを用いて行う。 プレゼンテーション内容は個々の研究課題に関するものとする。 研究課題は個々に話し合いの上、決定する。 1.プレゼンテーションの応用1 図表の作り方 2.プレゼンテーションの応用2 適切な引用の方法 3.プレゼンテーションの応用3 トピックセンテンス・ボトムラインの重要性 4.プレゼンテーションの応用4 見やすい配色、フォント、スライドスタイル 5.批判的な質問の応用1 短く適切な質問の仕方 6.批判的な質問の応用2 建設的な質問、納得する/させる議論の仕方 7.質問に対する適切な応答の方法 授業最終回に授業アンケートを実施する。								
(6)自主学習の指針	適宜、参考書を用いてプレゼンテーションに備える。								
(7)成績評価の基準	プレゼンテーションおよび質問ができる・・・「水準にある」 プレゼンテーションおよび質問が的を得ている・・・「やや上にある」 伝わりやすいプレゼンテーションおよび質問ができる・・・「かなり上にある」 伝わりやすく誤解のないプレゼンテーションができ、批判的な質問ができる・・・「卓越している」								
(8)事前事後学習の内容	・プレゼンテーション前の準備（資料集め、データ解析、作図など）および他者のプレゼンテーションに対して事前学習を行うこと。 ・プレゼンテーション後は、指摘を受けた箇所の修正および改善を行うこと。								
(9)テストやレポートの予定	テストやレポートを課すことがあります。								
(10)成績評価の方法	・指導教員との議論や研究室ゼミなどに必ず出席すること。 ・配点の内訳は、プレゼンテーション準備20点、プレゼンテーションの内容および授業態度50点、プレゼンテーション後の修正および改善20点、他者のプレゼンテーションに対する質問10点の合計100点満点とする。 ・0-59点：不可、60-69点：可、70-79点：良、80-89点：優、90-100点：秀								
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付けます。								
(12)履修上の注意	特にありません。								
【教科書】	指定しません。								
【参考書】	「伝わるデザインの基本」よい資料を作るためのレイアウトのルール（高橋佑磨、片山なつ 著） 技術評論社								